

ポスター | 2-02 体外循環・心筋保護

ポスター

体外循環①

座長:平田 康隆 (東京大学医学部附属病院)

Sat. Jul 18, 2015 10:50 AM - 11:20 AM ポスター会場 (1F オリオン A+B)

III-P-149~III-P-152

所属正式名称: 平田康隆(東京大学医学部附属病院 心臓外科)

[III-P-151]Glenn循環下 VV ECMOの一考察

○本村 誠, 齊藤 修, 齋藤 美香, 中山 祐子, 今井 一徳, 新津 健裕, 清水 直樹 (東京都立小児総合医療センター 救命救急・集中治療部 集中治療科)

Keywords: Glenn, VV ECMO, 上大静脈肺動脈吻合温存

【背景】 Extracorporeal Life Support Organization (以下、ELSO) によると、1999-2012年の間に Glenn術後の ECMO症例は全102例で、そのうち VV ECMOは4例のみで、多くは周術期管理下での導入である【目的】当院 PICUで経験した Glenn術後遠隔期における急性呼吸不全例に対し VV ECMOにおけるカニキュレーション部位、肺保護換気等について検討する【症例】 TS, hypoplastic RV, VSD, d-TGA, severe PS, PDA, bil.SVCsで3ヵ月時に RMBT、12ヶ月時に bil BDG施行 (SpO₂ 82-85%) された男児が、その17ヶ月後に RSVに罹患、従圧式人工換気、一酸化窒素吸入療法でも SpO₂ 40%台、平均気道内圧 (以下、MAP) 17cm/H₂O、inotrope score (以下、IS) 13となり用手換気下で当院にヘリ搬送となった。酸素化指数49、Murray score 3にて VV ECMO (右大腿 VVDL 12Fr、Rotaflow 2120 rpm、50-60 ml/kg/min (CI 1.0-1.2)、O₂ sweep 0.3 l/min) を導入し、MAP 14cm/H₂O、IS 6となった。第13病日には肺野改善、1回換気量11ml/kg、肺コンプライアンス3.8ml/cmH₂Oにて離脱、第22病日抜管、神経学後遺症なく前医へ転院した【考察】 ELSO報告の多くは、Glenn循環下 ECMO導入は VAが主体とされるが、本例では肺高血圧の程度を評価した上で、上大静脈肺動脈吻合温存のため大腿静脈による VVを導入した。これにより肺保護戦略を獲得しただけでなく、迅速な呼吸状態の改善により Glenn循環へも好影響を及ぼしたことが示唆された【結語】本発表では、Glenn循環下の VV ECMO管理について文献的考察を加えて報告する予定である。